

居合道 だより

第 197 号





はじめに

田川居合道同好会 中島 浩

猛暑かと思いきや英彦山の紅葉も進み、朝夕の寒さも肌身を感じる季節となり、今年も残すところ1ヵ月、師走のあわただしい時期になるなか、コロナウイルス感染症への感染者数が日増しに増え、第8波突入とざわついています。マスコミは以前のような加熱報道もなく、街中ではマスクをしないで歩く人を見かけるようになりました。

大丈夫なのかと思いつつ5回目のワクチン接種の予約を済ませ、私なりの感染防止対策を怠りなく十分に行い、新年を迎えたいと思う今日この頃です。

今年の居合道部を振り返るとコロナによる不安定な時期もありましたが、初稽古会、県大会及び講習会も久しぶりに予定どおり無事執り行うことができました。

また、全日本剣道演武大会・中央講習会及び全国居合道大会も開催され、来年3月には北九州大会実施が決定され励みの場が出来、少しずつ以前を取り戻しつつあるようです。

これからの季節、寒さも厳しくなり外出するのも億劫になりがちですが、コロナに負けず体調をしっかり整え、稽古に励み、自己研鑽に努めて行きたいものです。

最後になりましたが、東京で行われた昇段審査会で一つの扉をこじ開け難関を突破されたみなさん、誠におめでとうございました。

お知らせ

令和4年1月からの12月までの福岡県居合道部の行事に積極的に参加した五段以下の皆さんへ皆勤賞及び精勤賞の記念品を用意し、令和5年1月予定の初稽古会で贈呈します。

11月20日（日） 福岡県居合道稽古会・級審査会



12月・1月の予定

12月 4日	地域稽古会	居合道部	筑後地区
1月 8日	福岡県居合道部初稽古会	福剣連	福岡武道館
22日	地域稽古会	居合道部	宗像

昇段

2022年11月27日日曜日、江戸川区スポーツセンターで行われました居合道審査会にて合格されました。

六段 磯野美佐緒

七段 野田 尚徳

編集後記

いつのまにか紅葉は色づき、審査を終えた少年たちが背中に赤いオーラを背負って稽古に励んでいることに気づく。

試合は普段の3倍にも4倍にも及ぶほどの稽古になるという話はよく耳にします。それに匹敵するぐらいのパンチ力のある稽古が「審査」ではないかなと思います。

審査前、がむしゃらに稽古して、何をどうやればいいのかのトンネルに突入し、やればやるほど迷いが生じて、それを打ち消すためにまた稽古に励む。

審査本番では緊張がマックスに達して、迷いどころか何もかも消え失せて真っ白になり、激しく鼓動する心臓は今にも口から出てきそうなほど。

演舞終わって退場し、発表までの時間が普段の3倍にも感じ、ああ～ダメやったなーと自己厭悪する。しかし、合格の声を聞き、「達成された瞬間」に自分のモチベーションは最高潮にまで上がり、その後の稽古では審査で発揮した以上の実力を伴っていることに自他共に気づく。

居合の面白さは、きっとそんな山を乗り越えたその達成感と、そのあとワクワクしながら精進することによる「気づき」ではないかと思うことがある。

(違ってたら是非寄稿してご意見お聞かせください^^)

© 公益社団法人 福岡県剣道連盟・福岡県剣道連盟 居合道部

第197号 令和4年12月発行

発行：福岡県剣道連盟居合道部

URL：<http://riai.info/>

発行人：井手友太

〒819-1132 糸島市有田36番地-1

TEL:092-322-0847

編集：有限会社FEW